

平成 29 年「鎌足桜の魅力」写真と短歌・俳句コンテスト表彰作品

短歌の部

鎌足桜保存会会長賞

鎌足の里にさくらの増しゆきていにしへびとの心伝はる

鈴木 紫乃

鎌足公民館館長賞

風立ちてにわかにはなやぎぬ里山遅い春を惜しみて

石川 昇

入選

鎌足の縁で咲きし慈悲の花鎌倉の空に楚々と揺れいる

本多二三代

入選

いにしへの名を受け継ぎし八重桜鎌足郷に咲けり今年も

吉田 郁子

入選

うす紅の垂るる花房てのひらに受けていとしむ鎌足さくら

久富 とし

入選

野仏に花びら供えふるさとの伝えを語る鎌足さくら

諏訪 貞夫

入選

季遅く鎌足桜咲き終えて鳥鳴く里のみどりに紛るる

見渡 信夫

入選

鳥うたい若葉萌えたつ矢那の里鎌足さくら今真つ盛り

境 克己

入選

ひと房にあまた花付け重おもと静かに揺れをり鎌足桜は

斉藤 さく

入選

桜木の固きつばみのふくらみて華やぐ空の季を待ちをり

中澤 敬子

佳作

朝の陽に重き雫を振り払い鎌足さくらは息をつきおり

椎津 由子

佳作

朝露に花びら濡らす八重桜春陽を受けて淡く光れり

増本 泰恵

佳作

時の来て里に根付きし鎌足のさくらの若木つばみほぐるる

鳴田 榮子

俳句の部

鎌足桜保存会会長賞

白寿なる母の歩幅で桜観る

原 悦子

鎌足地区区長会会長賞

さくら舞う刹那カメラの連写音

山田 隆士

入選

鎌足桜一年生は十五人

角田まさ子

入選

里山に子等の声澄む花の昼

斎藤すず子

入選

鎌足の未来担ふ子花見上ぐ

吉田 暁美

入選

鎌足桜戦なき世の永久にあれ

高橋富久江

入選

雨にぬれ桜ほろりと紅こぼす

森 孝子

入選

桜湯に伝説の花ほの香る

広上 あい

入選

青空に友禅織りなす八重桜

國武 和子

入選

山桜観音参りの道しるべ

岩澤けい子

佳作

鎌足の風の優しき八重桜

古賀 壽昭

佳作

鎌足の桜の縁 咲き満ちて

小河原ゆき

佳作

地藏さま見つめる先に桜揺れ

森 信彰